

# ようこそランチタイムコンサートへ

生涯学習センターきらめきで、お昼に行われているミニコンサート(月に4・5回)をご存じですか。演奏や合唱などがエントランスホールいっぱいに響き渡り楽しい空間をつくっています。ある日のコンサートを紹介します。



たくさんの人が集まったランチタイムコンサート



ランチタイムコンサートの時間が近づくと、エントランスホールには徐々に人が集まり賑やかになります。ご夫婦づれや友達同士、通りがかりに一人でぶらりと来られた方などが、これから始まる演奏を心待ちにして席につかれています。

この日は、茨木市音楽芸術協会に所属しておられる川崎さんと石原さんの歌とピアノの演奏でした。演奏15分前にはもう客席はいっぱい、立ち見の方もたくさんいらっしゃいました。

いよいよコンサートが始まります。大きな拍手に迎えられ美しいドレス姿の演奏者が登場すると、最前列の観客から「きれい!」の声がかり会場は和やかな雰囲気。観客の皆さんは会場に流れる美しい歌声やピアノの音に癒され、アンコールを含めた30分あまりのコンサートは終了しました。

終了後、コンサートの感想を何人かの観客に聞いてみました。「チラシを見て親しみやすい曲があったので来ました。お昼に心地よい音楽が聴けてうれしいです」「生の歌声や演奏を気軽に聴けるのでとても楽しいです」「昔を懐かしみました」など。

中でも印象に残ったのは、90歳を過ぎたお母さんとその息子さんの親子でした。最前列で熱心に演奏を聴き、時折小さく口ずさんでおられるお母さんの様子を、息子さんはうれしそうにご覧になっていました。

息子さんは、「ランチタイムコンサートは時間が短いのが高齢の母にはちょうどいいのです。コンサートが終わったので、喫茶コーナー横のテーブルでお昼を食べてしばらくしてから帰ります」とおっしゃっていました。

出演者の川崎さんと石原さんにも感想を聞いてみました。「コンサートが無事終わりほっとしています。今日はとても楽しかったです。お客様が私たちの演奏をしっかり聴いてくださり、会場に一体感が生まれているのがわかりました」「以前からランチタイムコンサートに出演していますが、最初のころは周りからいろいろな音が聞こえるので、観客の皆さんが集中して聴いてくださるかどうかが心配でした。しかし、演奏してみると皆さんの心がこちらに向かっていくことがわかり安心しました」「ここは誰でも気軽に立ち止まって聴けることがいいですね。しかし、演奏する私たちにとってはこのような場所での無料コンサートこそ怖いのです。興味がなくなるとさっさと席を立たれるからです」「私たちはいつも真剣勝負をしています。これからも一人でも多くの皆さんに楽しんでもらえるよう、演奏を続けていきたいと思えます」。

※ランチタイムコンサートの問合せ先は下記まで。

茨木市立生涯学習センターきらめき

〒567-0028 茨木市畑田町1-43

TEL 624-8182

## きらめき特別講座 ジュニアのための講座 ～自己実現への第一歩を!～

生涯学習センターきらめきでは、小学5年生から中学3年生までを対象にした5つの講座を開講しています。受講生は、普段出会うことが少ない他校の受講生と楽しく学習しています。今回は、「伝統文化講座」と「コンピュータ講座」を紹介します。

### 伝統文化講座(茶道)

伝統文化講座は本年度はじめて開講されました。お茶の心を通して豊かな日本の伝統文化を学び、一期一会を大切にしようというのが主な目的で、市内の小学5年生から中学3年生までの子どもたちが集まっています。

取材をした日は15回講座の第3回目で、受講生は熱心に講師の指導を受けていました。一人ずつ茶室に入り、床の間の掛け軸や花を拝見し、お茶をたててもらい、それを順に味わい退席するまでの作法を学びました。ギャマンの茶碗、竹籠に生けられた木槿むくげの花、「朝顔」という名のお菓子など、すべてが夏の季節に合わせてありました。

受講生の皆さんに受講の動機を聞いてみました。「お母さんにお茶は楽しいよと言われて来ました」「中学校に茶道クラブがなかったのでここに来ました」「リーフレットでこの講座のことを知り、楽しそうだと思って来ました」など。そして「靴をきちっと揃えられるようになりま



お茶の作法を教わる受講生

した」「挨拶ができるようになりました」「正座にだんだんと慣れてきました」などと話してくれました。

指導されている講師の大久保先生にもお話を聞きました。「茶道を通して、誰とでも付き合える人になること、思いやりがある人になること、一期一会を大切にすることなどを学んでほしいですね。お茶の作法にはそういうことがすべて入っています。私は子どもといえども、そのことを大人と同じようにしっかりと教えていきます」と話してくださいました先生は、きりっとした美しい着物姿でした。

### コンピュータ講座

本講座はパソコン学習を通して、自ら進んで学ぶ意欲を持つというものが主な目的です。講座の内容は事前に提示されているので、目当てを持って学ぶことができます。教室には講師のほか、3人のアシスタントの方々が待機していて、いつでもサポートできる体制にしています。

取材をした日は15回講座の第3回目で、受講生は文章作成やその保存、ホームページの基本を学んでいました。子どもたちは積極的に質問も多く、講師やアシスタントの方々は忙しかったです。



パソコンを操作する受講生

受講生の皆さんに話を聞きました。「学校のお知らせプリントを見て来ました。面白いです」「興味があったので参加しました。とても楽しいです」「パソコンでもっといろいろなことをしたいです」。

講師の谷川先生に話を聞きました。「子どもは大人と違い頭で考えるよりまずパソコンを操作することで覚えていきます。操作しながら理解を深めていくのです。そこから自分なりの自己表現のためのスキルを発展させていきます。子どもは本当に素晴らしい能力を持っています。「最初は学校も学年も違うので緊張していましたが、すぐに仲良くなり今はのびのびとやっています。ここでは何を聞いても大丈夫だという安心感を持ってもらえるような雰囲気作りをしています。自由に隣同士でアドバイスを合す姿も見られます。また同時に、コンピュータ技術の習得だけでなく、ネット社会におけるマナーの大切さもしっかりと教えています」。